

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	39900	文化振興事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
①		13	13	(文化振興事業)(文化施設の利用助成事業)	根拠法令	旭市文化振興基金条例、旭市文化振興規則ほか	10	4	2	☒ 主な事業
基本施策		26	26	芸術文化の振興・伝統文化の保存	戦略事業	129	文化施設の利用助成事業			☒ 国土強靱化地域計画
施策の展開				芸術文化の振興	戦略事業	130	文化振興事業			☒ 新市建設計画
施策の展開					戦略事業	130	文化振興事業			☒ 定住自立圏構想
										☒ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	文化振興事業(あさひ青少年少女合唱団補助金を除く)とは、1. 千葉県東総文化会館にて市主催のコンサート・寄席・音楽祭・あさひのまつりなどを開催し、2. 市内で活動する歌謡・舞踊などの団体に、東総文化会館を使用する際に文化施設使用料を助成する事業。 1. 市主催事業 (有料): ロシア交流コンサート、あさひ寄席 (無料): 市民音楽祭、あさひのまつり、市文化祭、文化講演会、スプリングコンサート、NHK公開番組 2. 使用料助成 歌謡、舞踊、カラオケ施設使用料の1/3を助成している。(上限、回数制限[年度1回限り]有)
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
合併前の旭市文化振興基金、海上町文化振興基金に属していた現金、有価証券その他の財産により、新市文化振興基金を設置した。	文化振興基金は毎年ほぼ5,000千円以上の額を取り崩しており、H28年度末をもって基金を廃止し、一般会計に移行する。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
文化振興審議委員会にて、基金の廃止について説明。H28年度末廃止。参加者から「身近に見れてよかった」等の意見があった。 ・助成を受けた団体の発表者から「助成が年1回になったので、開催回数を年1回に減らした」といった意見があるほど、この文化会館を利用する団体にとって助成金のメリットは大きい。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位: 千円	
1. 公演等委託料	5,851	有料公演事業委託料等	
2. 建物等借上料	3,384	千葉県東総文化会館施設及び附属設備利用料	
3. 報償金	1,338	合唱団講師謝金、自主事業特別出演者報酬	
4. 使用料助成	540	使用料助成金	
5. その他	2,441	印刷製本費等	
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位: 千円	
1. 国庫支出金	0		
2. 都道府県支出金	1,018	県民芸術劇場公演費負担金	
3. 入場料収入	2,222	文化事業入場料収入	
4. その他	3,390	文化振興基金繰入金、地域伝統芸能等保存事業助成金 外	

事業費	費目内訳	1. 公演等委託料	千円	9,054	5,175	5,509	5,851	5,966
		2. 建物等借上料	千円	3,279	3,555	3,228	3,384	4,100
		3. 報償金	千円	1,400	1,481	1,420	1,338	1,370
		4. 使用料助成	千円	895	885	805	540	1,000
		5. その他	千円	2,717	2,805	2,594	2,441	3,220
	財源	事業費計 (A)	千円	17,345	13,901	13,556	13,554	15,656
		1. 国庫支出金	千円	2,419			0	
		2. 都道府県支出金	千円				1,018	
		3. 入場料収入	千円	4,211	3,680	3,211	2,222	4,015
		4. その他	千円	5,897	2,380	4,294	3,390	1,950
	5. 一般財源	千円	4,818	7,841	6,051	6,924	9,691	

前年度増減理由	制度改正に伴う文化施設使用料助成金の減少
---------	----------------------

従事職員数	常時	2人	最大	21人	×	1日	=	延べ	21人
-------	----	----	----	-----	---	----	---	----	-----

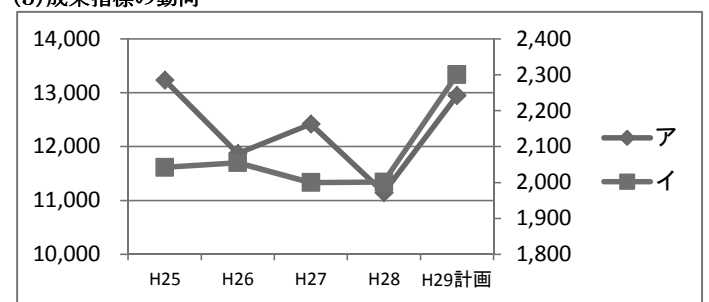
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) 市民音楽祭、あさひのまつり、NHK公開番組、市文化祭、文化講演会、あさひ寄席、ロシア交流コンサート、県民芸術劇場コンサート、農業担い手躍進講演会、スプリングコンサート、文化施設使用料助成	ア 市主催事業回数	回	10	9	9	10	9
		イ 使用料助成件数	件	14	15	13	13	15
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象意図 ① 市民 ① 普段味わえない質の高い文化を楽しむ。 対象意図 ② 市の文化団体・サークル ② 助成金のおかげで天きな舞台で発表することができる。	ア 市主催事業の観覧者数	人	13,231	11,871	12,418	11,144	12,945
		イ 助成によって参加できた団体の発表者数	人	2,042	2,055	2,000	2,001	2,300

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価優先度	コスト比率
	かなりある ある程度ある ほとんどない		下位 1/3 中位 1/3 上位 1/3
大きい	②	①	
普通		②	(2)
小さい		③	
		④⑤	
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	② 成果の状況	③ 今年度取組事項
	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難	(コメント) (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由) 成果指標ア 成果指標イ 数値増＝成果向上 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	(コメント) (低下の場合、その理由) 2事業で会場規模変更(大ホール→小ホール)に伴う収容人数の減少。1事業で事業規模変更に伴う来場者数の減少。
比較	24年度 25年度	25年度 26年度	26年度 27年度
成果動向	ア △1,557 イ 814	△1,360 13	547 △55
今後の方向性	拡大 縮小	現状維持 廃止・休止	見直し その他()
	平成28年度末	文化振興基金廃止に伴う新年度予算財源の移行	